

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000045
事業所名	グループホーム はるた

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域のゴミ拾いに参加したり、神社へお祭りの獅子舞を見に行くなどの交流に努めている。また、地域の人から認知症についての相談があり、「認知症サポーター養成講座」を開催し、数名の参加があった。ホームでハーブの演奏や歌手が来訪の折には、近隣の人も聴きにきている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回開催されている。主な出席者は近隣住民、いきいき支援センター職員、有識者、民生委員などである。会議の中で、介護のことで困っている近隣の人の相談があり、丁寧に対応している。また、調剤薬局の薬剤師が出席の折には、便秘と薬の関係についての話をしてもらっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者が認知症サポーター養成講座の講師であり、いきいき支援センターより依頼があれば講演に出向いている。また、名古屋市認知症相談支援センターと連携して、家族会（レビー小体型認知症）を開催している。その他にも市主催の認知症フォローアップ研修に講師として参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族より、管理者に直接メールがある場合もあるので、常時体制を整えている。面会時にも職員は必ず声をかけ、要望や意見などを引き出せるようきめ細やかな対応に努めている。「はるた通信」は今年度は2回発行し、写真で行事の様子などを伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				